

こんにちは♪

領内川用悪水土地改良区です!

当改良区は、愛西市、津島市および稲沢市の3市にまたがり、日光川水系領内川・新堀川区域の地区内農地の水を排水するため、地元排水機場運転士さんの力もお借りしながら46排水機場、約75基のポンプを維持管理しています。

海部・尾張西部地域には農地が多く存在します。特に海部地域は土地が低く河川が高いところがあり自然排水が出来にくい地形となっているため、地域の要所ごとに排水機場が設けられているのです。

①開治排水機場全景



②口径1メートル 横軸斜流ポンプ



《今回は新排水機場を紹介します》

県のたん水防除事業により設置された開治排水機場①が令和3年7月に稼働しました。ポンプの形式は横軸斜流ポンプといい、口径が1メートルで横に寝ている大きなポンプ②が2台設置されており、1秒間に4立方メートルの水を排出できる能力があります。小学校の25メートルプール（約450立方メートル）なら約2分で排出することができます。また、地域の運転士さんは排水機場運転説明会などの研修③を行い大雨に備えています。

しかし、排水機場が更新されたことで、水害が無くなることはありません。いったん集中豪雨が発生すると、雨の量によっては水位が下がらないこともあります。「ならばもっと大きなポンプを設置すればいいのでは」と思いますが、様々な条件によりポンプの大きさが定められているため、現状では難しい課題となっています。

③排水機場運転説明会の模様



当改良区職員による排水機場の巡回を行いポンプなどの状態を定期的に点検していますが、異常気象による局地的な集中豪雨が発生すると現在のポンプ能力では排水できないときがありますので、ご理解いただきます様よろしくお願い致します。